

AND

HOLON

A&Dホロンホールディングス

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

A & Dホロンホールディングス

証券コード 7745

<ご注意>

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

2025年3月期第3四半期 業績の概況

前年同期比売上高 + 8.2%、営業利益 + 16.9%と増収、営業利益二桁増で着地
全事業増収増益で推移

(単位：百万円)	2024/3期3Q		2025/3期3Q		増減額	前年同期比	(ご参考)	
		率		率			通期予想値	進捗率
売上高	44,455	—	48,119	—	3,663	+8.2%	66,000	72.9%
売上原価	24,647	55.4%	26,033	54.1%	1,385	+5.6%	—	—
売上総利益	19,807	44.6%	22,085	45.9%	2,277	+11.5%	—	—
販売費及び 一般管理費	14,628	32.9%	16,032	33.3%	1,403	+9.6%	—	—
営業利益	5,179	11.7%	6,053	12.6%	874	+16.9%	9,200	65.8%
経常利益	5,291	11.9%	6,204	12.9%	912	+17.3%	8,980	69.1%
税引き前利益	5,282	11.9%	6,202	12.9%	919	+17.4%	—	—
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	3,634	8.2%	3,986	8.3%	352	+9.7%	6,200	64.3%
1株当たり 四半期純利益 (円)	132.30	—	145.07	—	12.77	—	225.59	—

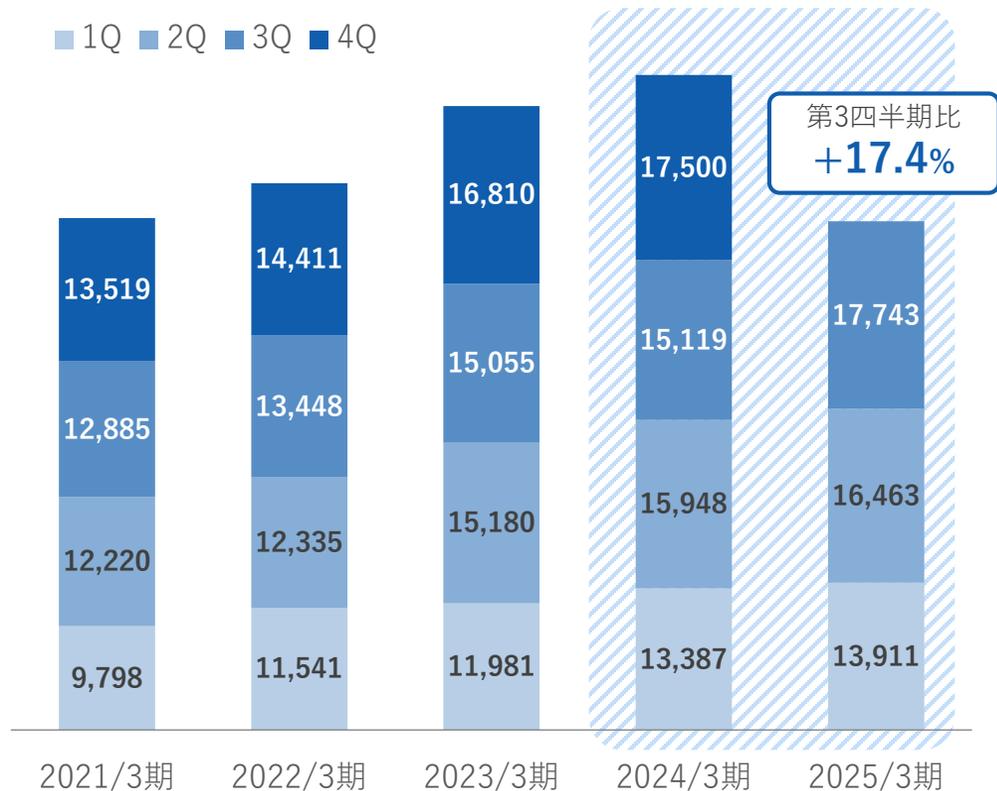
四半期別売上高・営業利益の推移

第3四半期会計期間 売上高は前年同期比+17.4%、営業利益は前年同期比+37.9%といずれも二桁増

(単位：百万円)

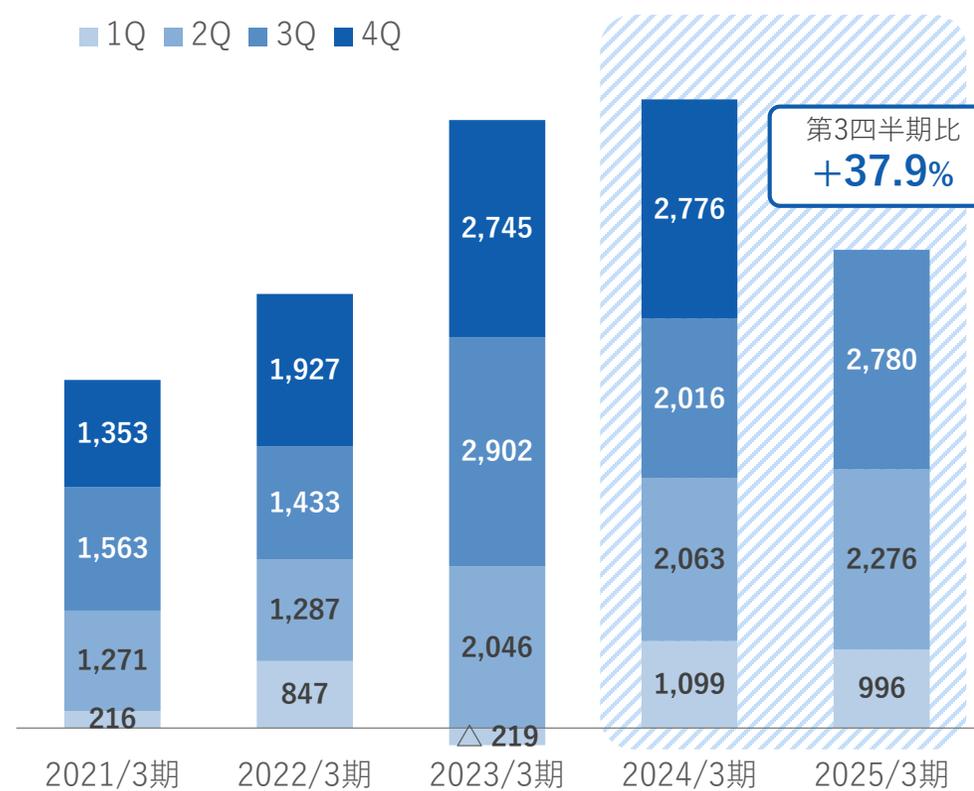
売上高

2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期予想
48,424	51,736	59,028	61,955	66,000



営業利益

2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期予想
4,404	5,496	7,475	7,955	9,200



地域別売上高推移

国内は設備投資需要に持ち直しの動きが見られる中、半導体関連や計測・計量機器が伸長

海外は米州、アジア・オセアニアにおける計測・計量機器、欧州における医療・健康機器が牽引

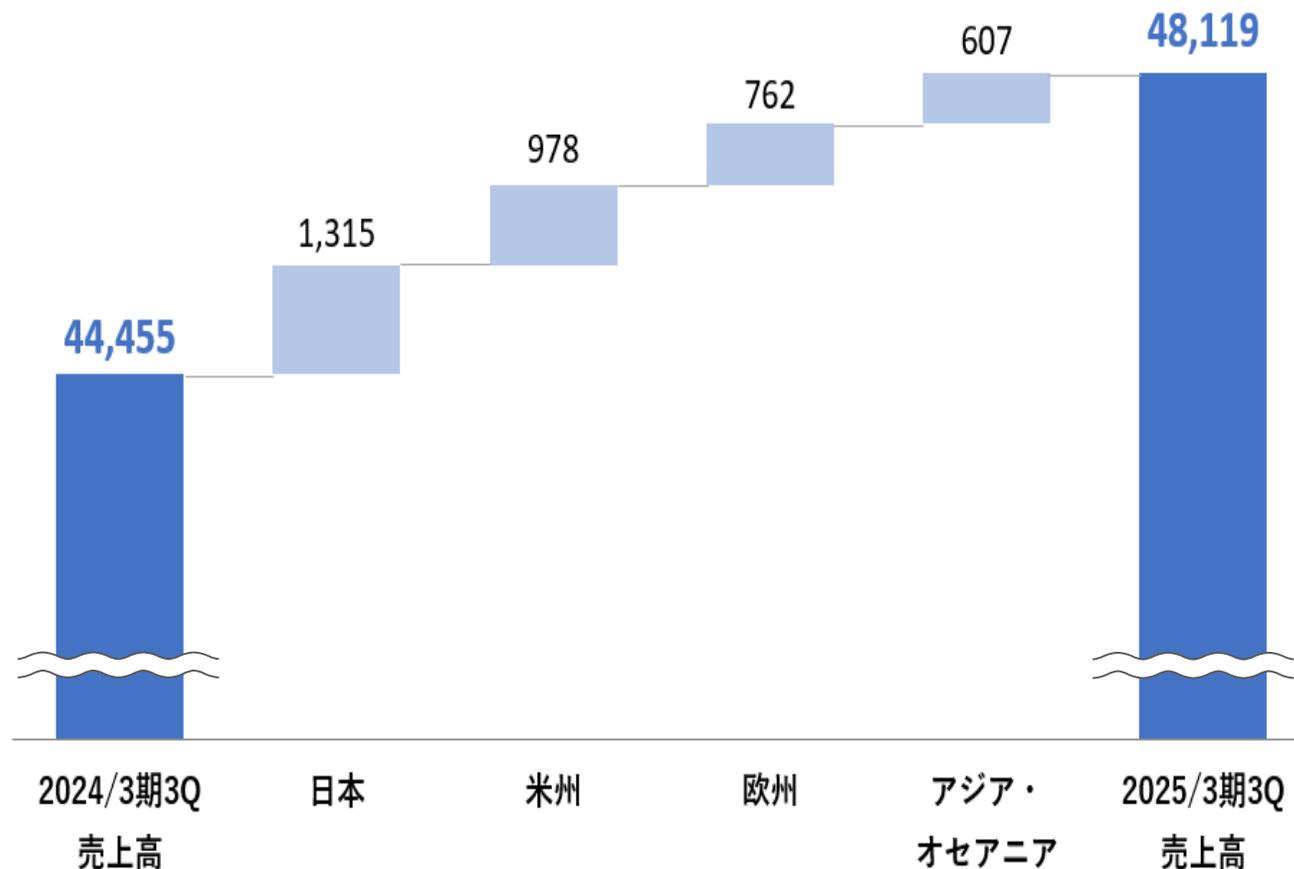
地域別売上高

	2024/3期3Q		2025/3期3Q		前年同期比
	額	構成比	額	構成比	
日本	23,884	53.7%	25,199	52.4%	+5.5%
海外	20,570	46.3%	22,919	47.6%	+11.4%

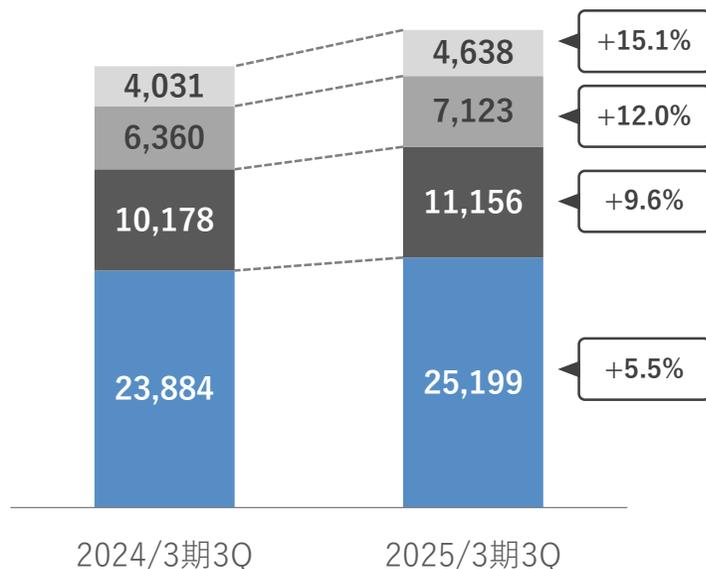
■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

地域別売上高増減分析

(単位：百万円)



YoY



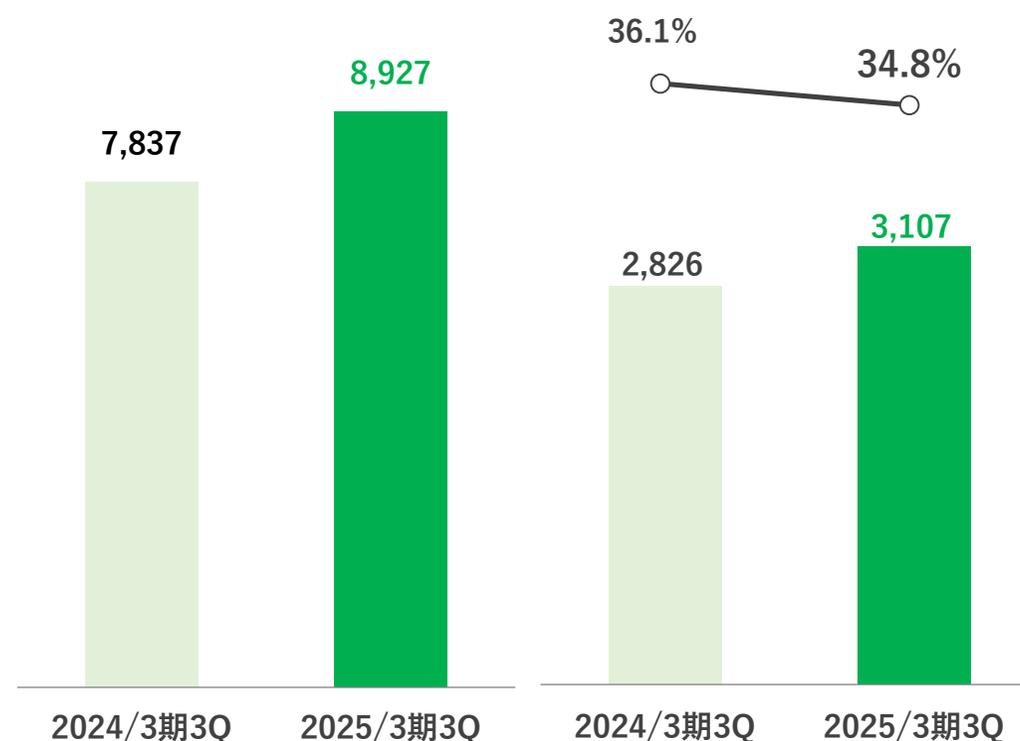
生成AI関連の先端半導体を中心とした需要の回復や各国におけるサプライチェーン強化のための設備投資需要の高まりを背景に当社製品への需要も堅調、顧客要求に合わせた対応で売上、利益共に増加

- 下半期への期ずれが発生した案件は当第3四半期に出荷
- 利益面では新製品開発に伴う研究開発費増などが影響するも、高付加価値製品が実績に寄与したことで増加

売上高・営業利益※1

	売上高・営業利益※1			ご参考	
	2024/3期3Q	2025/3期3Q	前年同期比	通期予想	進捗率
売上高	7,837	8,927	+13.9%	10,500	85.0%
営業利益 ※2	2,826	3,107	+9.9%	-	-
受注残高 ※3	9,615	9,209	-4.2%	-	-

売上高



営業利益・率 (単位：百万円)



※1：半導体関連事業は国内のみ

※2：各事業別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額（24/3期3Q -1,681百万円、25/3期3Q -1,938百万円）が含まれておりません

※3：当社グループは原則として見込生産を行っておりますが、一部受注生産を行っている製品があり、当受注残高は受注生産品の実績となります

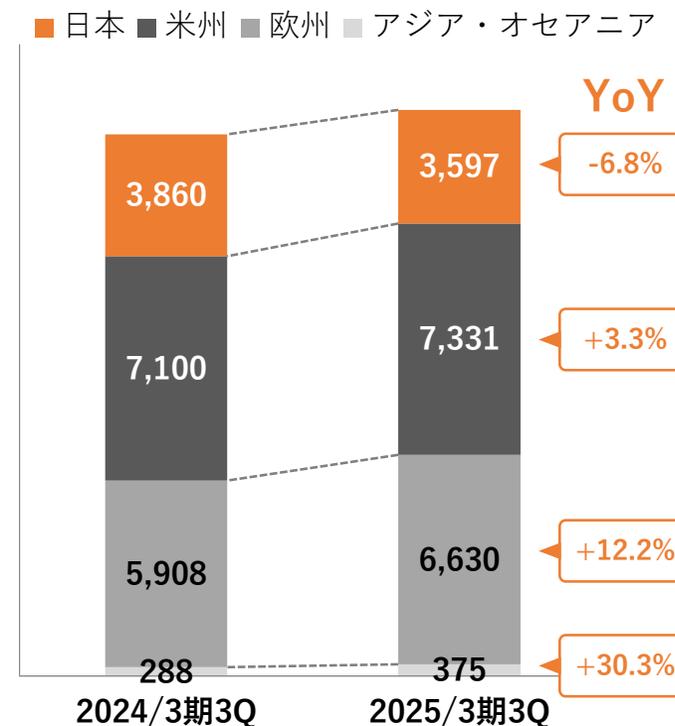
顧客・地域ごとの需要の強弱が入り混じる中で海外向け製品の需要増が貢献し、
売上、利益ともに増加

- 日本** 大口顧客向けが低調で売上は前年割れ、利益は製品ミックスや海外向け出荷増に伴う生産性向上により増加
- 米州** 為替影響による売上増加だが現地需要にも復調の兆しあり、利益は事業活動強化に伴う人件費増などが影響し減少
- 欧州** 現地でのシェア維持、拡大に注力し売上増加、利益は営業活動強化に伴うコスト増や為替の影響により減少

売上高・営業利益

	2024/3期3Q ()は構成比		2025/3期3Q ()は構成比		前年同期比	ご参考	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		通期予想	進捗率
売上高合計	17,158		17,934		+4.5%	23,900	75.0%
医療機器	3,267 (19.0%)		3,468 (19.3%)		+6.2%	4,600	75.4%
健康機器	13,890 (81.0%)		14,466 (80.7%)		+4.1%	19,300	75.0%
営業利益※1	3,179		3,487		+9.7%	-	-
受注残高※2	709		372		-47.5%	-	-

地域別売上高 (単位：百万円)



※1：各事業別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額（24/3期3Q -1,681百万円、25/3期3Q -1,938百万円）が含まれておりません

※2：当社グループは原則として見込生産を行っておりますが、一部受注生産を行っている製品があり、当受注残高は受注生産品の実績となります

DSP機器需要やアジア地域での計量機器需要が好調に推移したことで売上、利益ともに増加

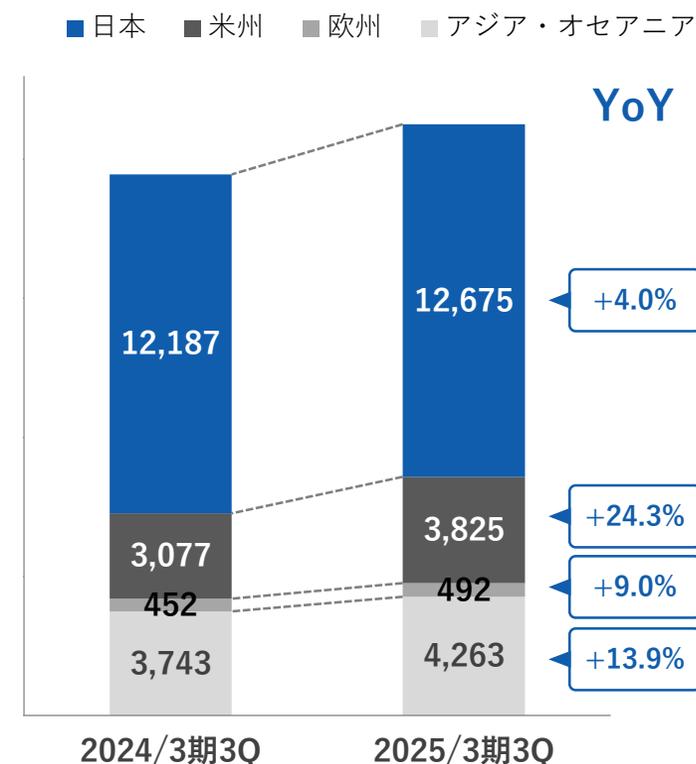
- 日本** 計量機器需要は弱含み続くもDSP機器需要が好調に推移、利益率改善の取り組み効果もあり売上、利益ともに増加
- 米州** 計量機器需要の一部取り込みや好調なDSP機器需要により売上増加、利益は営業活動強化に伴う人件費増や為替の影響が大きく減少
- アジア・オセアニア** 主に韓国・台湾・インドでの計量機器需要が好調に推移し、売上、利益ともに増加

売上高・営業利益

	2024/3期3Q ()は構成比		2025/3期3Q ()は構成比		前年同期比	ご参考	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		通期予想	進捗率
売上高合計	19,459		21,256		+9.2%	31,600	67.3%
計量機器	14,042 (72.2%)		14,744 (69.4%)		+5.0%	21,600	68.3%
DSP機器※1	5,416 (27.8%)		6,512 (30.6%)		+20.2%	10,000	65.1%
営業利益※2	854		1,396		+63.5%	-	-
受注残高※3	6,619		8,347		26.1%	-	-

地域別売上高

(単位：百万円)



※1：25/3期実績から計測機器とDSP機器をあわせDSP機器としてまとめて表示（24/3期についても計測機器とDSP機器を合わせた実績で表示）

※2：各事業別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額（24/3期3Q -1,681百万円、25/3期3Q -1,938百万円）が含まれておりません

※3：当社グループは原則として見込生産を行っておりますが、一部受注生産を行っている製品があり、当受注残高は受注生産品の実績となります

売上高 前期比 +6.5%、営業利益 前期比 +15.6%と増収、営業利益二桁増益を見込む
 中期経営計画最終年度（25/3期）は、23年5月12日公表の上方修正通りを見込む

事業環境

半導体関連事業

引き続き中長期的には新たな需要は高まる見込み、米国による中国向け輸出規制強化などの環境変化には注視が必要
 当社製品への需要は前期並みを想定

医療・健康機器事業

医療・健康分野でのデジタル化進展やインフラ整備、個人での健康管理などの需要増継続が見込まれる一方、地政学リスクや為替の影響など、引き続き厳しい事業環境を想定

計測・計量機器事業

引き続き世界的なカーボンニュートラル社会やデジタル化社会へのシフトが加速する中、新規技術や生産設備への投資は続く

	2024/3期	2025/3期 予想	増減率
(単位：百万円)			
売上高	61,955	66,000	+6.5%
営業利益	7,955	9,200	+15.6%
経常利益	8,240	8,980	+9.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,299	6,200	+17.0%
1株当たり 当期純利益 (円)	192.91	225.59	+17.0%

想定為替レート：1米ドル140.00円、1露ルーブル1.60円

2025年3月期は半導体関連事業については大幅な業績貢献を見込んでおらず、計測・計量機器事業において、主に米国やアジア地域での需要増による業績貢献を見込む

(単位：百万円)		2024/3期 (実績)	2025/3期 (予想)	増減率
半導体関連事業		10,329	10,500	+1.6%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,503	4,600	+2.2%
	健康機器	19,060	19,300	+1.3%
	小計	23,563	23,900	+1.4%
計測・計量 機器事業	計量機器	18,909	21,600	+14.2%
	DSP機器※	9,153	10,000	+9.2%
	小計	28,062	31,600	+12.6%
売上高合計		61,955	66,000	+6.5%

半導体関連事業

受注残や引合いの状況を鑑み、24年3月期並みの実績を見込む。次世代装置等の新製品開発推進や既存顧客とのリレーション強化によって今後の需要増に対応しさらなる成長への準備を着実に実行

医療・健康機器事業

各国での販売エリアや流通の拡大、新たな事業展開の推進などに加え、部材調達の更なる見直しおよび生産性向上の取り組み推進により原価低減を図り、業績の維持・拡大を目指す

計測・計量機器事業

米州での流通ルート見直しや販売チャネル強化など販売戦略見直しによる事業再構築および中国などのアジア地域における事業拡大に加え、電動化への対応強化により業績の拡大を目指す

※ 計測・計量機器事業の内訳を変更、25年3月期予想からは計測機器とDSP機器をあわせDSP機器としてまとめた

AND

HOLON

A&Dホロンホールディングス



A&Dホロンホールディングス
IRサイトは[こちら](#)から